

改憲阻止! 憲法いかし格差是正、賃金・労働条件引き上げを! 団結ひろげ道労連倍化へ!

道労連NEWS

発行日: 2016.11.01



発行: 北海道労働組合総連合 〒003-0805 札幌市白石区菊水5条1丁目4-5 Tel: 011-815-8181

「組合の大切さ 再確認できた」

労組の魅力を学び、交流深める —2016年わくわく講座開講式 in 旭川—

道労連は10月30日、「2016年わくわく講座開講式in旭川」を大雪クリスタルホールで開催し、旭労連加盟組織などから28名が参加しました。

講義は道労連役員の3名が担当。第1章「人間らしく生き、働きたい!」～だから労働組合のテーマで“現場第一主義”黒澤幸一道労連議長、第2章「一人じゃできないこともみんな力であわせ」～労働者・労働組合の権利のテーマで“ユナイト王子”平田和之道労連青年協事務局長、第3章「みんなで討論、みんなで決定、みんなで実践」～労働組合の組織と運営のテーマで“熱烈情熱アニキ”中川喜征道労連執行員(福祉保育労道地本副執行委員長)が、それぞれの「持ち味」をおおいに活かした講演と、グループワークで学んだことの実践について意見交流しました。

受講生は、理論と活動に裏打ちされた講師陣の話術と情熱に引き込まれ、共感と実感を深めていました。



「TPP批准するな! アピール行動」
11月4日(金) 12:10 ~ 12:40 @ 紀伊国屋書店前

黒澤さん(写真右上)は、電通やKKRの過労死問題が起きる、繰り返される背景について解明し、働くためにも労働組合が必要であることを強調。ワイマール憲法下でのヒトラー独裁への道についても触れ、改憲阻止のたたかいを大きく広げることの重要性を語りました。



平田さん(写真右下)は、「正直、労働組合は面倒くさい」と思っていた自らの経験も交えて、黙っていればヒドクなることはあっても良くなることはないこと、みんなで力を合わせて活動することの重要性や労働組合が社会運動をすることに意義について、実際のデモ映像なども交えながら講義しました。



中川さん(写真左下)は、労働組合の運営のポイントをわかりやすく解説。若干スベリ気味のギャグを織り交ぜながら、「団交こそ要求実現のための最高のステージ」「仲間を増やすことが、要求実現のための最大の保障」など、団体交渉と組織拡大の重要性について熱く語りました。



受講生からは「労働組合の必要性をあらためて強く感じました」「拡大の意義を知れる講義で大変勉強になりました」「なぜ、組合が社会運動を?と思っていたので、講義はとても自分のためになりました」「団交は最高のステージという言葉がよかったです」「必要性を強く感じたので、少しずつ実行できればと思います。元気の出る講座でした」「組合について...と聞くと、難しい話と構えてしまいましたが、クスッと笑いもあり、とても聞きやすくてわかりやすい話で聞き入ってしまいました」「とても心に響きました。労働組合が生まれた理由を今一度理解することが重要。労働組合の存在をもっと広く、大きく認識を深めていくことが大事」「組合の役割として社会運動が必要、つながっているということを再認識することができました」「労働条件を改善するために所属企業への要求だけでなく、組合を通して行う社会運動に意義があるのだと感じました」「『力を合わせて』ということを何度も強調されていたことに、強く共感しました」など率直な感想が出されました。

引き続き学習と実践の相互連携を強め、労働組合の活動参加を増やしながらか、要求実現と組織拡大の前進サイクルを作り出しましょう。受講生のみなさんは、独習やわくわく講座の特設ホームページにアップされている「講義動画」を視聴して、来春までに全員が修了するようにしましょう。(※道労連組織部は、旭川で「閉講式」を行うことを検討します。今回の受講生や現地のみなさんから、ぜひ意見・要望をお寄せください)